

うら山かくおれた

上^{かみ}文^{もん}小^こ学^{がく}校 三年 か^か村^{むら} 生^{いき}

学校から帰ると、家のすぐ横の山のしや面
がすこしくずれて茶色の土が見えてりました。
そしてぼくはこのままだと、川がはんらんす
るんじやないかと心配になりました。四、五
日ぶり雨が降った雨のせいです。

二夜になっても雨がやむ気配はなく、車に
有る車が出しやがにまきこまれるかと思ひ、全
いんの車を公みんかんにい勤させました。三、五

の時、お母さんは「どうも雨がひどいよ」と
言っていました。

そして、家族みんなを話し合ひ、公みんか
んでとまろうかとこのことにまりましたが、
うんよくその後雨が弱まり、公みんかんでと
まることになりました。

次の日、学校に行くと中の道に水があふれ
長じつをはりていても中に出入り水が入りこま
るうなくらひにひじたり。学校に着くと、みんな
が大^お雨^{あめ}の^あし^しを^をし^しこ^こり^りま^まし^した^たの

ぼくの家の横の山は十年ほど前のふくりが
う雨の時も、ずぶく出しが、かくおれさまで、
家がすこしづかえしまっ、にそ、びすのその
後かんじよ、うなフユソスを作、てもらいまし
た。

今回の土しか、くおれは、小さ、いもの、びした
か、おれさま、んは、また、おま、く、おれ、る、か
か、な、ま、と、て、も、心、配、り、と、い、う、て、い、ま、し、た
ぼくは、ふ、くり、が、う、雨、が、お、れ、だ、け、に、お、り、も、の
か、知、り、ま、せ、ん、が、一、と、自、他、ん、さ、い、が、り、た、け、に

けんするとい、せ、に、に、お、す、た、ら、た、お、い、を、だ
お、と、思、い、ま、し、た、の、お、も、は、お、目、に、お、あ、ん、す、る
こ、と、が、大、切、だ、と、思、い、ま、し、た、。